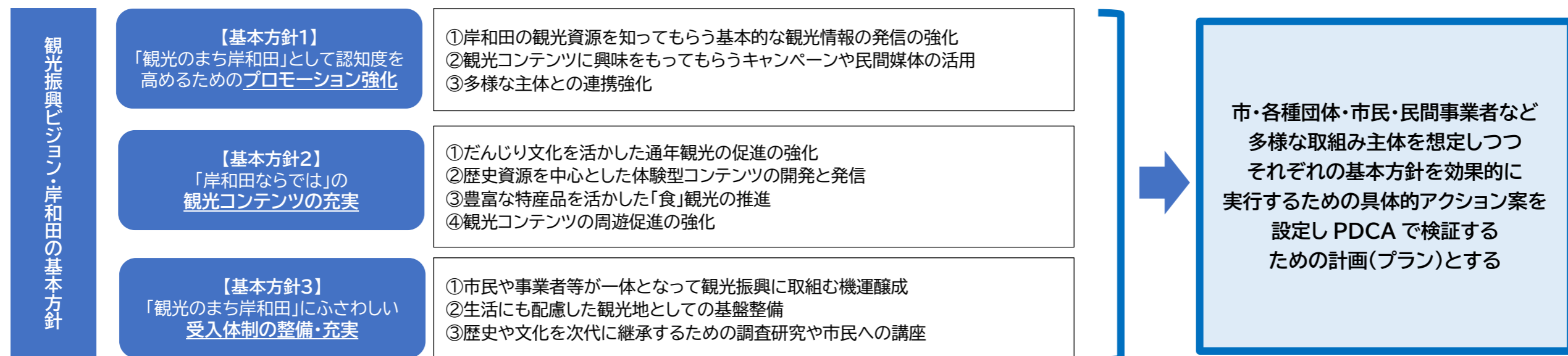


・観光振興ビジョン・岸和田では、時間やコストなどを考慮し、効果的に実行するための具体的な取組みであるアクションプランを下記のとおり定めます。着実な成果を創出するために、本計画の対象期間である6年間を前期と後期に分け、それぞれにおいて重視する方向性とそのための中核活動を明確にします。
 ・なお、その活動によって想定する成果を定性的・定量的に把握するため、主要 KPI 及び効果測定項目を定めるとともに、前期終了後の中間検証なども踏まえ、着実な成果を創出するように取り組みます。

	前期			後期		
	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度 (大阪・関西万博開催年)	令和8(2026)年度	令和9(2027)年度	令和10(2028)年度	令和11(2029)年度
観光振興戦略の方向性	「岸和田ならではの」魅力を知ってもらう ≪ “観光のまち”として主要コンテンツの認知度向上 ≫			観光コンテンツの充実を図り市域全体への周遊性を高める ≪ “多様な魅力のあるまち”として市内各所の認知度向上 ≫		
実現するための中核活動	主要コンテンツのプロモーションの強化			市内各地のコンテンツ開発・磨き上げと個別プロモーション		

前期・後期の想定される成果(KPI)	重要視する成果	主要 KPI の基準値と経過値	令和8(2026)年度末の想定される効果測定項目	重要視する成果	主要 KPI の目標値	令和11(2029)年度末の効果測定項目
		(A) 主要観光コンテンツのプロモーション活動の強化	・1年間の主要観光施設及びイベントへの観光入込客数 [基準値] 令和4年度 262万人 [経過値] 令和8年度 280万人	・観光入込客数(人回) ・岸和田市の主要観光拠点の認知度	(A) 主要観光コンテンツのプロモーション活動の強化	・1年間の主要観光施設及びイベントへの観光入込客数 [目標値] 令和11年度 300万人
(B) 観光のまちとしての主要観光コンテンツの認知度・満足度の向上		・岸和田市を訪問した際の観光客の満足度(「大変満足」「やや満足」の合計) [基準値] 令和5年度 51.0% [経過値] 令和8年度 75.0%	・観光消費額単価(円/人回) ・観光消費額(円) ・岸和田市の主要観光拠点の認知度 ・観光客の平均滞在時間(時)	(B) 観光のまちとしての主要観光コンテンツの認知度・満足度の向上	・岸和田市を訪問した際の観光客の満足度(「大変満足」「やや満足」の合計) [目標値] 令和11年度 98.0%	
(C) 岸和田市への来訪者数の増加		・岸和田に来たことがない方の来訪意欲(「ぜひ訪れたい」+「機会があれば訪れたい」の合計) [基準値] 令和5年度 29.6% [経過値] 令和8年度 44.0%	・観光入込客数(人回) ・観光消費額(円) ・宿泊施設の現状(来訪者数増加に必須要素であるため)	(C) 岸和田市への来訪者数の増加	・岸和田に来たことがない方の来訪意欲(「ぜひ訪れたい」+「機会があれば訪れたい」の合計) [目標値] 令和11年度 58.0%	

◆アクションプランの体系



(1)プロモーション強化

具体的な手法		取組み主体					2024年	2025年 (大阪・関西万博)	2026年	2027年	2028年	2029年	取組みイメージ
		市	団	民	企	他							
国内観光客向け	① 岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化	HPや SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した情報発信	◎	◎				←→				・市のサイトや SNS 等の充実 ・「岸ぶら」のリニューアル及び「岸ぶらがー」の情報発信の充実 ・観光振興協会の公式 Facebook や Instagram の充実	
		観光情報サイトへの登録推進(自動翻訳機能によるインバウンド対策を兼ねる)	◎	◎	○	○			←→				・インフルエンサーを活用した観光コンテンツなどの情報発信
			◎	◎	○	○			←→				・観光資源の Trip Adviser や Google マップへの登録
	② 観光コンテンツに興味をもってもらえるキャンペーンや民間媒体の活用	周遊イベントの実施による観光コンテンツの認知度向上	◎	◎	○	○			←→				・各コンテンツに応じたスタンプラリーの開催 ・「まちあるき」イベントの開催
			◎	◎		○				←→			・「岸ぶら」スタンプラリーの開催
		有料観光情報サイト等を活用した情報発信	○	○	○	◎			←→				・有料観光情報サイトを活用した体験プログラム等の情報発信及び販売促進
		観光コンテンツ等の動画配信	◎	◎	○	◎			←→				・YouTube などを活用した、だんじり祭や観光コンテンツの動画配信
		マスメディアを活用した情報発信	◎	◎	○	○			←→				・プレスリリースの発信によるテレビ・新聞などマスメディアの活用 ・雑誌への取材型の記事広告によるマスメディアの活用
	③ 多様な主体との連携強化	旅行事業者への旅行商品化への働きかけ	◎	◎		○			←→				・大阪観光局主催の大阪素材意見交換会への参加 ・ツーリズム EXPO への出展
		フィルムコミッションの推進	◎	◎					←→				・大阪フィルムカウンスルとの連携推進 ・ロケ誘致活動の推進
海外観光客向け	① 岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化	SNS を活用した効果的な情報発信	◎	◎				←→				・インフルエンサーを活用した観光コンテンツなどの情報発信	
		有料観光情報サイト等を活用した情報発信	◎	◎		○			←→			・有料観光情報サイトを活用した、体験プログラム等の情報発信及び販売促進	
		観光コンテンツ等の動画配信	◎	◎	○	◎			←→			・YouTube などを活用した、だんじり祭や観光コンテンツの動画配信	
	③ 多様な主体との連携強化	海外の旅行会社等への働きかけ	◎	◎				←→				・インバウンド専門旅行会社を招聘したトライアルツアーの開催と商品造成への働きかけ ・日本政府観光局(JNTO)が主催する Visit Japan Travel & Mice Mart(VJTM)を活用したインバウンド専門観光会社への紹介	

市: 岸和田市の取組み
 団: 商工会議所、観光振興協会など公共的団体の取組み
 民: 市民や市民団体の取組み
 企: 企業による取組み(空港、鉄道なども含む)
 他: その他、教育機関など

←→ : 重点的に実施する期間

(2)観光コンテンツの充実(コンテンツ関連プロモーション含む)

具体的な手法	取組み主体					2024年	2025年 (大阪・関西万博)	2026年	2027年	2028年	2029年	取組みイメージ
	市	団	民	企	他							
① だんじり文化を活かした通年観光の促進の強化	だんじり文化を活用した体験プログラムの充実	◎	◎	○								・だんじり会館を拠点とした事業の実施
	「だんじり小屋めぐり」の実施	◎	◎	○								・祭礼期間外のだんじり小屋めぐりの実施 ・だんじり小屋スタンプラリーの実施
	次世代へのだんじり文化の継承	◎	◎	○								・だんじり学講座の実施
② 歴史資源を中心とした体験型コンテンツの開発と発信	観光資源を活かした体験プログラムの開発・拡充	◎	◎		○	○						・観光コンテンツをつなぐ体験プログラムの企画
③ 豊富な特産品を活かした「食」観光の推進	「食」を中心とした観光資源の開発	○	◎		◎	○						・季節性のある「岸和田ならではの」の水産物・農産物のブランディング(≒6次産業化の推進) ・岸和田らしさのあるメニューの開発促進と飲食店の情報発信
		◎	◎		○	○						・フルーツやスイーツコンテンツ等の「食」コンテンツを活用した周遊促進
		◎	○		○							・通年の土産物となる岸和田ブランド(認定品制度)の活用・向上と情報発信の拡充
④ 観光コンテンツの周遊促進の強化	サイクルツーリズムの受入体制の整備	◎	◎									・サイクルステーションの整備 ・アプリ等を活用した周遊促進
	脱炭素にも寄与する自転車を活かした観光の推進	◎	○			○						・市内のサイクリングモデルルートの策定
		◎	◎									・サイクリングツアーを手掛けている国内の観光事業者との意見交換やサイクリングツアーへの組込の働きかけ
サイクリングモデルルートに関する広報活動の展開	◎	◎		○							・サイクリング雑誌等へのプレスリリース ・サイクリングに関するインフルエンサーを活用した情報発信	

市:岸和田市の取組み
 団:商工会議所、観光振興協会など公共的団体の取組み
 民:市民や市民団体の取組み
 企:企業による取組み(空港、鉄道なども含む)
 他:その他、教育機関など

↔:重点的に実施する期間

(3)受入体制の整備・充実

具体的な手法		取組み主体					2024年	2025年 (大阪・関西万博)	2026年	2027年	2028年	2029年	取組みイメージ
		市	団	民	企	他							
① 市民や事業者等が 一体となって観光 振興に取組む機運 醸成	市民講座などの開催	◎	○	◎		◎						<ul style="list-style-type: none"> 次世代に岸和田の歴史と文化を受け継ぐための市民講座の実施 市民がSNSなどを活用して岸和田市の魅力を伝える観光大使(アンバサダー)として活躍する市民アンバサダー制度の導入 岸和田ボランティアガイド養成講座の実施 	
	事業者向け観光講座の開催	◎	◎		○							<ul style="list-style-type: none"> 「Trip Adviser」「バルトラ」「Google マップ」の活用方法の事業者説明会開催 「アソビュー」や「じゃらん」など、有料観光情報サイトの活用方法の事業者説明会開催 	
	市民による「まちあるき」イベントの開催	○	○	◎									<ul style="list-style-type: none"> 市民の地元観光素材への愛着を図るボランティアガイドによる「まちあるき」イベントの開催
② 生活にも配慮した 観光地としての基 盤整備	市内の周遊を促進するための観光サインの充実	◎	◎	○	○	○						<ul style="list-style-type: none"> 観光マップなどの充実 観光解説版(QRコード等のデジタルサイン含む)などの充実 観光マップやサインなどの多言語化 デジタルサイネージの導入(主要駅など) 	
	城下町泊などの取組み推進等による宿泊施設の充実	○	○	◎	◎							<ul style="list-style-type: none"> 補助制度の創設 	
	観光客の受け入れ環境整備	◎	◎		○							<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi 環境の整備 手ぶら観光の推進 観光用トイレの洋式化 	
③ 歴史や文化を次代 に継承するための 調査研究や市民へ の講座	教育機関と連携した歴史・文化の推進・次世代への継承	◎	○	○		◎						<ul style="list-style-type: none"> 市民参加型の「岸和田学講座」の開催 	

市:岸和田市の取組み
 団:商工会議所、観光振興協会など公共的団体の取組み
 民:市民や市民団体の取組み
 企:企業による取組み(空港、鉄道なども含む)
 他:その他、教育機関など

 :重点的に実施する期間